



No.37 2009.06

土木史フォーラム

Newsletter of Committee on Historical Studies in Civil Engineering
Japan Society of Civil Engineers

目次

フォーラム	産業遺産と廃墟景観	岡田 昌彰	1
地域のニュース	「パッテンライ!! 南の島の水ものがたり」	緒方 英樹	3
	地場産石材『芦野石』を用いた近代化遺産解説板の制作 ～栃木県那須烏山市の近代化遺産を 活用したまちづくりへの取り組み～	福島 二郎	4
文化財ニュース	文化財となった土木関連建造物等一覧	北河 大次郎・阿部 貴弘	5
学会の動き	『第29回 土木史研究発表会』開催のお知らせ	土木史研究委員会	6
土木史関係図書		永村 景子	8

フォーラム

産業遺産と廃墟景観

近畿大学理工学部社会環境工学科 岡田 昌彰

1977年2月、わが国における産業遺産の将来を方向づける重要な総会が早稲田大学大隈講堂にて開催された。産業考古学会の創立総会である。初代会長は日本近代建築の巨匠、谷口吉郎。自らの卒業設計では「製鉄工場」を制作し、東工大の水力実験棟という異色の処女作をもつ。代表作の1つ「秩父セメント第二工場」(1956年：現存)も建築家の設計した産業施設として現在に至るまで異彩を放ち続けている。まさに日本の産業考古学を立ち上げるべき最適の人物であったことは間違いない。以来、この学会はわが国の産業遺産研究やその保存活用において常に先導的役割を果たしてきた。機関会員を務める国際産業遺産保存委員会(TICCIH)中間会議(名古屋：2005年)では、産業遺産研究の国際的拡がり在国内にも強くアピールしたといえる。

その後も産業遺産に価値を認める趨勢が年々高まりを見せている。石見銀山の世界遺産登録(2007年)のほか、長崎県の端島(通称：軍艦島)においては2003年に地元でNPOが立ち上がり世界遺産登録が目指されている。この島は雑賀雄二、小林伸一郎ら写真家によって1980-90年代から既に注目されていたが、メディアを通じて次第に広く知れ渡るようになり、今年5月には一般訪問者を対象とした部分的公開も開始された。

2006年10月に経済産業省が東京ビッグサイトに開催した「産業遺産ネットワークシンポジウム」では、パネリストの1人として英国から招待されていたスチュアート・スミス TICCIH 事務局長が軍艦島

について非常に興味深い発言をしている。氏は軍艦島の世界遺産登録の可能性を認めながらも、「廃墟としての可能性」という重要な観点を示唆したのである。英国発の価値観である「産業遺産」という概念に、これも英国発祥の「廃墟景観」という価値観が付随することはむしろ自然であるのかも知れない。

そもそも、廃墟景観の美学とは何なのか？その価値観の歴史は意外と古く、18世紀の英国風景式庭園にその端緒を見ることができる。当時英国の富裕層が“グランドツアー”と称し、自ら学んだ文化や教養を確かめるべくイタリアなどを旅行し、そこで出会ったクロード・ロランらによる理想化された風景画から強い刺激を受けた。これらには古典への憧憬が映し出されており、古代ギリシャの建物などが廃墟として描かれている。また、彼らはイタリアの荒れ果てたバロック庭園を觀賞し、手入れ不足で自然に回歸しつつあるいわば「放任景観」にも深い感銘を受けたと言われている。その後、英国の造園家や建築家がこのテーマを庭園デザインに応用しはじめた。廃墟景観の価値はアイキャッチャー、自然(じねん)、尚古象徴、うつろいといった要素で大よそ説明できるが¹⁾、廃墟の取り入れ方は実にさまざまである。スタウアヘッドのように廃寺を移築するタイプ、スタッドレイロイヤルやスコットニーカースルのように既存廃墟の周辺を庭園として整備するタイプ、そしてペインシルパークやストウのようにゼロから廃墟レプリカを「創造」するものまであるのだ。1740年代にはサンダーソン・ミラーという人工廃墟

の建築家までもが現れ、点景建築として廃墟を庭園要素に取り入れたほか、18世紀後半になると彼のスタイルを模倣した作品も制作される²⁾。英国人の廃墟景観に対する狂信的なまでの執着心には脱帽せざるを得ないが、「古色」「わびさび」という美学をもつわが国には比較的受け入れやすい価値観であると言えるかも知れない。

さらに谷川渥³⁾が指摘するように、不規則性、多様性、錯綜、粗さといった「表面的性質」が廃墟景観の価値を形作るとすれば、これは「用」の有無からも切り離された極めてザッハリッヒ（即物的）な価値ということになる。そして興味深いのは、ザッハリッヒという概念は産業施設の形成過程である「実用本位」という意味も同時に内包していることである。つまり産業遺産の景観には、施設の形成時およびその後の時の経過の中で立ち現れた"2つの即物性"が重層的に表出しているのである。

今夏、TICCIHの第14回国際学会がドイツのフライブルク市にて開催される。筆者は2005年に続き産業景観について発表する予定であるが、この論題に対する各国の参加者たちの反応が楽しみである。前述のスミス氏との議論の機会も得たいところであるが、成果があれば本誌にて改めてご報告したい。

【参考文献】

- 1)岡田昌彰(2001) 産業廃墟景観論・試論, ランドスケープ研究 Vol.64 No.5
- 2)豊口真衣子(2005) サンダーソン・ミラーによる人工廃墟建築：18世紀イギリスにおける廃墟崇拜に関する研究, 日本建築学会計画系論文集 594
- 3)谷川渥(2003) 廃墟の美学, 集英社



写真1 英国風景式庭園における廃墟

左) フォリーと呼ばれる人工廃墟(ペインシルパーク)

右) 庭園要素として取り入れられた既存の廃墟(スタッドレイロイヤルのファウンテン修道院)



写真2 産業遺産の景観(和田山駅機関庫／兵庫県朝来市)

地域ニュース

「パッテンライ！！南の島の水ものがたり」

財団法人全国建設研修センター 緒方 英樹

台湾は、面積 36,000 平方キロメートル、日本の九州とほぼ同じ広さを北回歸線が横切って南北に分ける。その南部の夏期は長く、河川は短い。よって渇水期も長い。

今からおよそ 90 年少し前、台湾の南部、嘉義と台南、両県をまたいで広がる嘉南平原は、雨期には洪水、乾期には干ばつ、沿岸地域では塩害で喘ぎ続ける歴史的な不毛地帯だった。塩害に侵された南部の土地は、井戸を掘っても飲めなかったという。

「村では水汲みの順番を決め、遠くの溜め池まで牛車の桶を積んで運んだ」。そう話してくれたのは当時、嘉南農田水利会に勤めていた徐欣忠さん。10 年前の 5 月 8 日、私は「土木の絵本シリーズ」で取り上げることにした八田與一を取材するため、台南の烏山頭ダム堰堤の畔にいた。八田技師夫妻の墓前祭は、嘉南農田水利会主催で肅々に行われ、地域農民が次々と墓前に花を手向ける。5 月だというのに気温は 35 度を超えていた。金沢から毎年来ていているという友好の会メンバーと合流した私たちへの案内役が徐さんだった。

「私たちは水を飲むとき、井戸を掘ってくれた人のことを忘れません。そうした飲水思源という思想から、農民たちは自分たちの暮らしを豊かに変えてくれた八田さんのことを子々孫々伝えるため、毎年、八田さんの命日に墓前祭をおこなっています」

汗一筋も見せない瘦躯の徐老師は、流暢な日本語で八田技師の業績を説明する。歴史や土木技術の細部、殉工碑に刻まれた人たちの名前まで諳んじているのだ。徐老師の言葉は次第に熱を帯び始め、烏山頭ダムをつくり、16,000 キロメートルもの給排水路（約地球半周分）を行き渡らせた土木技術者・八田與一が徐老師に乗り移る。口角泡を飛ばして目尻がつり上がる頃には、八田技師は台湾に水を引いた神にもなる。

「朝は朝星、夜は夜星、昼の弁当は梅干し」当時、農民たちの貧困と勤勉さを表す言葉だった。重労働、栄養不足、医薬品不足で本島人の寿命は 50 歳くらいだったという。

「私の住む部落から烏山頭までは 40 キロほど離れていたの、そこから水が流れてくるなんてとても信じられなかった。それでも、八田さんは農民を

励ましにここまでやって来た。八田さんはね、普段は温和だけど仕事になると本島人でも内地人でも差別なく大声で叱るんだ」。徐さんの思い出話は、時として徐さんの父や祖父の語った言葉も入り混じる。やおら、ふっと我に返った徐さんは、八田夫妻の墓を指さして言う。

「刻んだ名前が朱（あか）いのはなぜか分かりますか。私たちにとって神様だからです」。祖父と父から受け継いだ八田技師への敬愛は、少年時代の徐さんを土木技師への道に向かわせた。

「俺も八田さんみたいな土木技術者になりたい」。長編アニメ映画『パッテンライ！！』の劇中で叫ぶ徐英哲少年こそ、徐欣忠さんをモデルとして描いた。この映画は、八田與一ら大人の夢に少年たちが夢を重ねて成長していく物語である。その徐さんも水利会を退職され、今年で 83 歳になる。自他共に認める八田技師と嘉南大圳の生き字引である。老師が元気なうちに台湾での上映を実現したいと少し焦っている。

嘉南大圳の「圳（しゅう）」とは農業用水路、「大圳」とは途方もなく長い用水路を言う。嘉南の農民たちは八田のことを「嘉南大圳の父」と慕う。徐さんの受け売りである。



地場産石材『芦野石』を用いた近代化遺産解説板の制作

～栃木県那須烏山市の近代化遺産を活用したまちづくりへの取り組み～

足利工業大学都市環境工学科 福島 二郎

はじめに

栃木県那須烏山市は、2005 年 10 月に 2 町の合併により誕生した人口 30,133 人（2009 年 1 月 1 日現在）の新しい市である。市では、新市としての地域振興に向けた取り組みとして、市・商工会と県内 5 大学の研究室等により設立された「那須烏山市まちづくり研究会」を運営する中で、各大学・研究室の専門分野を活かした活動が展開されている。足利工業大学福島研究室では、市に存する近代化遺産に着目しその調査を踏まえ、近代化遺産を市の大きな地域資源として、さらに新たな観光資源として位置づけ、市・商工会との協働により近代化遺産を活用したまちづくりに取り組んでいる。

近代化遺産解説板の制作

市には13件の近代土木遺産や戦争遺産・洋風建築物等の近代化遺産が現存している。これらの近代化遺産の来訪者に対する情報発信と市民に向けた意識の高揚を目的に、市のふるさと観光資源活性化事業の一環として解説板を設置することとした。解説板の構成・デザイン・素材の選定など、解説板の制作全般にわたり福島研究室が企画・提案し、市の担当部署である商工観光課との綿密な検討を行い、2007年度に4基、翌2008年度に2基の解説板が完成した。

解説板制作のプロセスとその特徴

解説板の制作プロセスおよびその特徴は以下のとおりである。①「外に向けた情報発信と内に向けた誇りの醸成」という目的に沿い、“これまでになく斬新さ”・“地域のプライドの醸成とその増幅”・

“伝えたいことを明確にする”をコンセプトとした。
②これらを具体化するコンテンツを検討し決定した。
③これらの要素を盛り込んだ解説板全体の構成とデザインを決定した。④これまでの調査で得られた当該遺産の評価・情報をまとめ、最終的に解説文を作成した。⑤素材の選定に際し、“地場産素材の使用”・“遺産への興味の増幅”を基本姿勢として検討を行い、県の「2007 年度地域ブランド形成支援事業」に選定された「芦野石」を使用することとした。⑥石材解説板として従来行われてきた“文字の彫り付け”に代え、設置以降も容易に更新することができるよう石材に直接コピーすることとした。この“直接コピー”という技法の採用によりカラー写真の挿入も可能となり、これまでの石材解説板にはない斬新な解説板が完成した。図1に解説文構成デザイン、図2に完成した解説文、写真1に設置された解説板を示す。

おわりに

市では、2009年2月に「観光振興ビジョン策定委員会」を立ち上げ、これまでの近代化遺産活用の取り組みをその一つの柱として位置づけている。市民への近代化遺産の浸透はこれからであり、市民が近代化遺産を“地域の誇り”として認識し、郷土への愛着心を育てていくことが近代化遺産活用による観光まちづくりの第一歩となる。“地域のプライド”である近代化遺産と“地域ブランド”としての『芦野石』のコラボレーションは、その醸成効果を後押しするものと考えている。小さなまちではじめて小さな取り組みが、大きな成果に結びつくことを期待したい。

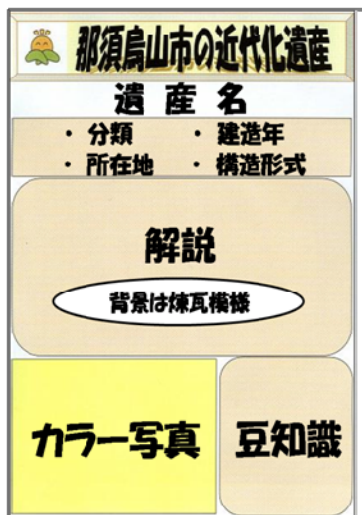


図1 解説文構成デザイン

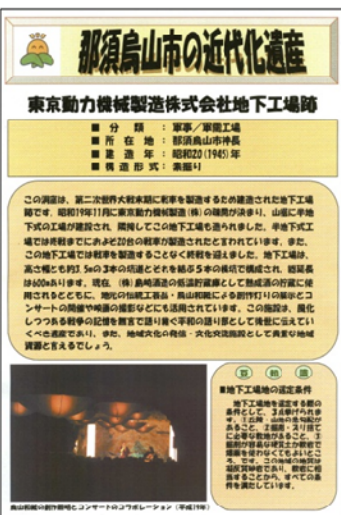


図2 完成した解説文



写真 1 境橋の橋詰に設置された解説板。
2007 年度土木学会選奨土木遺産の認定書も
取り付けている。(雨水による劣化への対応
から、現在はアルミ板にコピーし石材に埋め
込むエレクトリックビームに改良した。)

文化財ニュース

文化財となった土木関連建造物等一覧

重要文化財 平成21年4月答申分

所在地		名称	建設年代	特徴等
富山県	富山市・立山町	白岩堰堤砂防施設	S14	わが国有数の急流荒廃河川である常願寺川の基幹砂防施設の一つとして、内務技師赤木正雄の計画に基づき建設され、今なお富山平野を土砂災害から守り続ける国土保全施設。大型機械を駆使して築かれた大規模構造物群(本堰堤、副堰堤、床固、方格枠)からなる複合的砂防施設であり、近代砂防施設の一つの技術的到達点を示す。
高知県	奈半利町	旧魚梁瀬森林鉄道施設	M44ほか	農商務省の直轄事業により建設されたわが国最初期の森林鉄道施設の一つで、通常の鉄道構造物とは異なる構法や規模で建設された橋梁や隧道が、旧態を良好に保持しながらまともに残る。二股橋と堀ヶ生橋はそれぞれ無筋コンクリート造及び充複式RC造橋梁として、近代における最大級の径間を実現した構造物として価値が高い。

登録有形文化財 平成20年12月答申分

所在地		名称	建設年代	特徴等
北海道	芦別市	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	S20頃	単線仕様、橋長94mの旧釧山鉄道の橋梁で、深い渓谷に最高約30mの橋脚が連続して立つ特徴的な外観。
福井県	南越前町	高倉砂防西高倉堰堤	M35頃 ／T8増設	川の狭窄部で、巨石を約10m高まで積み上げた大規模な石造構造物
長野県	千曲市	荏沢川第一号石堰堤	M17頃	信濃川水系荏沢川の中流域に築かれた砂防施設。地形に沿って緩やかな勾配により築かれた空積の石造構造物で、それぞれ堤体と水叩きよりなる。内務省の直轄によるわが国初期の砂防施設の一つで、地すべりによる土砂災害から集落を守る。
		荏沢川第二号石堰堤		
		荏沢川第三号石堰堤		
		荏沢川第七号石堰堤		
長野県	小川村	薬師沢石張水路工	M19頃 ／S8 S29改修	信濃川水系土尻川の支溪に築かれた砂防施設。薬師沢、己り地沢、滝の下沢の各水路工は、沢に小さな石造構造物を連続的に配するつくりで、富吉沢の水路工は全長63mを一体的な石造構造物とする。糸魚川・静岡構造線から近い土砂災害の多い地域につくられた、内務省の直轄によるわが国初期の砂防施設の一つ。
		己り地沢石張水路工	M19	
		滝の下沢石張水路工	M後期	
		富吉沢石張水路工	M後期 ／S10増設	
愛知県	武豊町	旧国鉄武豊港駅転車台	S2 ／H14改修	旧武豊港駅の貨物用に使われた、全国的にも残存例の少ない直角2線式転車台。
香川県	宇多津町	旧讃岐鉄道岩屋架道橋	M30	単線仕様の単アーチ橋。全国的にも類例の少ない純石造の鉄道構造物。
		旧仲杵塩田水門	T15 ／S62移設	長大な花崗岩の柱と梁を組み合わせて築いた大規模な塩田水門。

登録有形文化財 平成21年3月答申分

所在地		名称	建設年代	特徴等
栃木県	日光市	旧東武鉄道下小代駅駅舎	S4 ／H19移築 ・H20改修	木造平屋建で正面入口に切妻造のポーチを配す。官鉄標準駅舎を参考に建設したとみられる、昭和初期における地方鉄道駅舎の好例。
群馬県	前橋市	上毛電気鉄道粕川橋梁	S3 ／S22改修	地域交通を支えた橋長42m、単線仕様、上路式の鋼製4連桁橋。
長野県	大鹿村	上蔵堰堤	S28	天竜川水系小渋川に築かれたわが国初期の本格的なアーチ式堰堤。

『第29回 土木史研究発表会』開催のお知らせ

1. 主 催：土木学会（担当：土木史研究委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>）
2. 期 日：【研究発表会】2009年7月4日（土）・5日（日）【見学会】2009年7月3日（金）
3. 会 場：北海道教育大学函館校
 交通案内：函館市電・五稜郭電停から徒歩約15分
 函館バス・函館駅前2番乗り場より「昭和ターミナル行（田家町、赤川通経由、系統番号4番）」に乗車。「教育大前」にて下車
 函館バス・函館駅前6番乗り場より「桐花通中央・昭和営業所方面行（白鳥町、高台通経由（系統番号27ループ10）」に乗車。「教育大通」にて下車
4. 参加費：会員・非会員：2,000 円、学生会員：1,000 円
 論文集および講演集販売：合冊（論文集Vol.28+講演集Vol.29）：6,000 円
 論文集のみ：2,000 円 講演集のみ：4,500 円 ※当日会場にて申し受けます。
5. 懇親会：1) 日 時：2009年7月4日（土）18:00～19:30
 2) 会 場：BAYはこだて「みなとの森」（函館市豊川町11-5）
 3) 参 加 費：4,000円 4) 参加方法：当日会場にてお申し込み下さい。
6. 見学会：1) 日 時：2009年7月3日（金）14:30～20:00
 テーマ：「函館山周辺の近代土木遺産と函館の夜景」
 【集合】函館空港14:30、JR函館駅14:50に出発します。時間までに函館空港到着ロビー、JR函館駅コンコース待ちあいコーナーにお集まりください
 →① 函館港改良施設（船入潤防波堤）（函館開発建設部 函館築港事務所の説明）→ ② 元町配水場（函館市水道局の説明）→ ③ 函館山要塞跡（函館市土木部の説明）→ ④ 函館山 →【解散】
 2) 募集人数：先着順の受付とさせていただきます、定員は40名。参加人員が20名に満たない場合は中止
 3) 参 加 費：2,800円
 4) 申込み先：JR北海道 法人旅行札幌支店「第29回土木史研究発表会」係
 TEL:011-223-5740 FAX:011-280-8386
 E-mail:hjr-taikai@jrhokkaido.co.jp
7. 宿泊案内：土木史研究委員会ホームページ（<http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>）を参照ください。

『第29回 土木史研究発表会』プログラム

◆7月4日（土）（1/2）10:00～12:00

時間	第1会場(第1講義室)	第2会場(第2講義室)
10:00	開会挨拶 土木史研究委員会委員長 篠原 修	
10:20	【港湾、景観】 司会：岡田 昌彰(近畿大学) 林千秋の欧米港湾視察と北海道の港湾にかける思い -札幌船渠論の提唱- 戸巻 昭三((株)クマシロシステム設計) 品川台場計画について -新発見の絵図より- 神吉 和夫(神戸大学) 動物をめぐる景観について 藤尾 直史(東京大学)	【交通】 司会：天野 光一(日本大学) 東京の環状街路計画の変遷に関する史的研究 那須 広孝(元 日本大学) 秋葉古道の成立過程と果たしてきた役割などの研究 中根 洋治(昭和コンクリート工業(株)) 福知山線全通後の輸送改善に関する長期的分析 波床 正敏(大阪産業大学)
12:00	明治・大正期の納涼床営業者の鴨川官有土地利用に関する研究 -先斗町三条・四条間を対象として- 林 倫子(京都大学)	近代土木遺産としての余部鉄橋の保存と活用の取り組み 福永 悦男(兵庫県県土整備部)

◆7月4日(土)(2/2) 14:00~19:30

14:00	【河川1】 司会:大熊 孝(NPO 法人新潟水辺の会)	【橋梁1, ダム】 司会:中井 祐(東京大学)
	実務面から見た明治期の常願寺川改修工事 貴堂 巖((株)ケイエステック)	近代化土木遺産の移設保存 -平木橋 村瀬 佐太美((財)海洋架橋・橋梁調査会)
	明治時代中期の天竜川・三峰川の治水関係史料 山浦 直人(長野県建設部)	我が国における江戸期から明治期への釣橋の展開(その7) -江戸期の古典的釣橋から明治期の鉄線橋への変遷- 山根 巖
	河道特性に着目した札幌の中心市街地形成過程に関する一考察 岩田 圭佑(熊本大学)	井川列橋の歴史とその構造解析 武部 健一(道路文化研究所)
	御所用水の再建 -京都市街の防火 小野 芳朗(京都工芸繊維大学)	建設記録映画の分析による戦後日本の発電用コンクリートダム建設技術の発展 馬淵 浩一(愛知文教大学)
15:40	開港150年記念「函館のまちづくりと交通の歴史」講演会	
17:30		
18:00	懇親会	
19:30		

◆7月5日(日) 9:00~16:05

9:00	【河川2】 松浦 茂樹(東洋大学)	【橋梁2】 司会:五十畑 弘(日本大学)
	遠賀川流域の土地利用の変遷に関する研究 (古墳時代までの土木技術と土地開発) 松木 洋忠(元 国土交通省遠賀川河川事務所)	カンボジア 12~13 世紀建造の王道石橋群 -測量データ解析を中心として 伊東 孝(日本大学)
	遠賀川流域の土地利用の変遷に関する研究 (律令期の土木技術の普及) 松木 洋忠(元 国土交通省遠賀川河川事務所)	アンコールの石橋の構造的安定性について 松村 博((株)ニュージェック)
	遠賀川流域の土地利用の変遷に関する研究(藩政期の河道変遷) 松木 洋忠(元 国土交通省遠賀川河川事務所)	隅田川震災復興橋梁吾妻橋の設計の考え方 白井 芳樹((株)オオバ)
	通潤用水の維持管理における利用者の役割に関する研究 古賀 由美子(熊本大学)	ルイ・アレル・ドゥ・ラ・ノエによる鉄道高架橋群の設計に関する考察 本田 泰寛
10:40		
11:00	【河川3, 遺産】 司会:伊東 孝(日本大学)	【修復・復元, 測量, 地域・都市1】 司会:小野田 滋((財)鉄道総合技術研究所)
	庄川用水の合口化 (A Study on Intake Unification of the Shougawa Irrigation Channels) 安達 實((株)アステック)	城郭石垣における石材間の摩擦特性と個別要素法解析によるシミュレーション 山本 浩之(ハザマ)
	系譜評価を主眼とした栃木県那須烏山市の近代化遺産調査 加藤 祐伴(足利工業大学)	高松城天守台解体時の力学調査と保全工法 金岡 正信(大阪産業大学)
	近世以前の土木遺産から見た、都道府県ごとの地域的特徴 馬場 俊介(岡山大学)	地籍測量史の研究(その2) -地籍制度の変遷と地籍図の精度の関係について- 築瀬 範彦(足利工業大学)
	戦争遺跡高知掩体壕の保存に関する研究 山崎 利文(高知工業高等専門学校)	我が国の産業遺産活用についての一考察 -(社)土木学会誌「CEレポート」に掲載された記事のまとめ- 西尾 敏和(群馬県立高崎工業高等学校)
12:40		
14:00	【土木史一般】 司会:畑山義人(株式会社ドーコン)	【地域・都市2】 司会:佐々木 葉(早稲田大学)
	土木遺産の見学会としての活用とその教育的効果 原口 征人((社)北海道開発技術センター)	西川緑道公園の誕生 -岡山市内用水の景観成立- 竹内 晋平(岡山大学)
	近代産業施設としての秩父鉱山の特徴分析と映像アーカイブス化 片山 大輔(埼玉大学)	舟運都市ヴェネツィアの近代化に関する研究 -19 世紀から 20 世紀初頭を中心に 樋渡 彩
	旧北海道庁による技術協議会と北海道における技術者ネットワーク形成の萌芽 今 尚之(北海道教育大学)	1780 年代のル・アーヴル港拡張計画について 根岸 美幸
15:40		
16:05	総括および閉会挨拶 土木史研究編集小委員会委員長 松村 博	

書名	著者・編者	発行所・発行日	定価(税込)
産業遺産を歩こう 初心者のための産業考古学入門	平井東幸・種田明・堤一郎	東洋経済新報社・2009年4月	¥2,100-
今、各所で人気の産業遺産の見方を、多くの資料を交えて産業考古学会関係者が解説。			
道路橋技術基準の変遷 既設橋保全のための歴代技術基準	藤原稔	技報堂出版・2009年4月	¥2,940-
造る時代から使い継ぐ時代へ。これから道路橋に関わる技術者は要チェックの1冊。			
都市計画家石川栄耀 都市探究の軌跡	中島直人・西成典久・初田香成・佐野浩祥・津々見崇	鹿島出版会・2009年3月	¥5,040-
日本の現代都市は彼が創った…石川栄耀の関わった都市計画をくまなく網羅。			
日本のコンクリート技術を支えた100人	笠井芳夫・長滝重義監修、三浦宏一編集	セメント新聞社・2009年3月	¥2,940-
土木、建築、技術者、メーカー…。今日のコンクリート技術の礎を築いた先人を一挙に紹介。			
都市富山の礎を築く 河川・橋梁・都市計画にかけた土木技術者の足跡	白井芳樹	技報堂出版・2009年1月	¥3,360-
富山は土木遺産の宝庫。こんな都市を築いた技術者と土木を丁寧に述べる。			
風景のとらえ方・つくり方 九州実践編	小林一郎監修・風景デザイン研究会著	共立出版・2008年11月	¥3,675-
「いいものづくり」は時代を問わず「いいもの」に学べ！土木を学ぶ若者に向けた1冊。			
ピカソを超える者は 評伝鈴木忠義と景観工学の誕生	素山・篠原修	技報堂出版・2008年9月	¥1,995-
土木の新分野はこうして生まれた…「景観工学始祖 鈴木忠義」の物語を「弟子 篠原修」が描く。			
人物で知る日本の国土史	緒方英樹	オーム社・2008年8月	¥2,100-
小学生から土木初心者まで。日本の国土形成に寄与した人物をイラストを交えてわかりやすく紹介。			

(株)文化財保存計画協会 永村景子

編集後記

土木史フォーラム小委員会の委員長として、34号から37号までを担当しましたが、これら各号には、冒頭の「フォーラム」に土木遺産を活用する上で役立つと考えられる、幾つかの重要な視点をお纏めいただきました。それは土木遺産の活用が、産業遺産などに比べて立ち後れているのではないかと考えたからです。産業遺産については、2007年に経済産業省が地域活性化推進を目的として産業遺産活用委員会を設置し、産業史・地域史のストーリーを軸とした33箇所の近代化産業遺産群を設定するなどしています。それがどのような成果を上げているかは判然としませんが、土木遺産の場合とは取り組む姿勢に違いがあるように思います。

来月の研究発表会にあわせて行なわれる委員会で、次期委員が選任されます。新しい方々がまた別の問題意識を持って「土木史フォーラム」をより充実して下さることでしょう。この2年間、予定通り「土木史フォーラム」を発行することができました。これは、委員・事務局や土木史に関わる多くの皆様の多大なご協力があったことです。深く感謝します。(藤井)

土木史フォーラム No.37

監 修：土木学会土木史研究委員会

発 行：土木史フォーラム小委員会
代表者 藤井 三樹夫 土木史研究室

事務局：伊納 浩 (株)地域開発研究所
TEL.03-3831-2844 FAX.03-3831-2620
Email: inou@rdco.co.jp

土木史フォーラムHP
<http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/forum/>

印 刷：(株)青孔社

CONTENTS

-FORUM

- ・ The Industrial Heritage and The View of Ruins OKADA Masaaki 1

-LOCAL NEWS

- ・ PATTENRAI!! The Tale of Water in The Southern Island OGATA Hideki 3
- ・ The Work of The Modernization Heritage Description Board Made of “Ashino-Stone”
Produced in Local FUKUSHIMA Jirou 4

-Civil Engineering Works on Latest Heritage Registration List

- KITAGAWA Daijiro and ABE Takahiro 5

-REPORT FROM CHSCE(Committee on Historical Studies in Civil Engineering)

- ・ Call for papers of the 29th Annual Meeting of CHSCE (CHSCE) 6

-BOOK GUIDE

- NAGAMURA Keiko 8